

- ・ 生検終了後に検査医から病変についての説明を行うが、最終的な結果は、生検病理診断および二重読影が終わってから改めて説明すること。
- ・ 生検実施時の費用負担については、「6 費用負担について」を参照のこと。

(7) 検査後の説明

- ・ 検査終了時に検査の概要、生検の有無について説明を行う。
- ・ 検診の結果は二重読影により最終的に確定することから、検査終了後の結果説明だけでなく、最終結果を確認する必要性を説明する。
- ・ 検診結果返却のための受診日の目安を案内する。

(8) 画像のアップロード・一次読影結果の入力

- ・ 検診システムに内視鏡画像を登録する。
- ・ 検診システムに一次読影結果を入力する。
生検を行った場合は、追加で生検実施についても入力する。
- ・ 一次読影結果は「胃がんなし」「胃がんあり」「胃がん疑い」「胃がん以外の悪性病変」(疑い含む)「その他病変」「判定不能」の6段階とする。

判定例)

胃がんなし	所見なし
胃がんあり	生検を実施した結果、胃がんであったと確定した場合。(病変の部位・所見・診断名をシェーマ図から入力する。)
胃がん疑い	生検未実施であるが、胃がんが疑われる場合。(病変の部位・所見・診断名をシェーマ図から入力する。)
胃がん以外の悪性病変	食道がん、悪性リンパ腫等が疑われる場合。(病変の部位・所見・診断名をシェーマ図から入力する。)
その他病変	良性病変(胃十二指腸潰瘍、ピロリ菌感染胃等)の場合。(良性病変が見られた場合は、「胃がんなし」と判定し、病変の部位・所見・診断名をシェーマ図から入力する。経過観察・治療が必要な場合は、その旨をコメント欄に入力し、二次読影医へ伝達する。)
判定不能	残渣多量等により判定が困難であった場合。(コメント欄に判定不能となった理由を入力する。)

- ・ 問診内容と一次読影結果は、検診実施日の翌日までに検診システムに登録する。

※ただし、生検を実施した場合は、生検結果を登録した後に一次読影結果を入力すること。